



宇都宮市防災ハザードマップの使い方

1 「自宅」や「勤務先」、「普段よく行く場所」など どのような災害の危険性があるか確認しましょう！

大雨や地震によって、本市で想定される災害は、「洪水氾濫」・「内水氾濫」・「土砂災害」・「ため池災害」の4種類があります。

それぞれ想定される被害の範囲が異なるため、必ず全てのハザードマップを確認してください。

- ▶ 洪水・土砂災害ハザードマップ.. 17～48ページ
- ▶ 内水ハザードマップ..... 49～66ページ
- ▶ ため池ハザードマップ..... 67～69ページ



2 災害ごとに「避難所」を確認しましょう！

洪水や土砂災害の恐れがある場所に位置する避難所は風水害時には開設しません。
災害ごとに使用できる避難所を確認してください。

- ▶ 避難所一覧..... 70・71ページ

3 実際に避難所までの「避難経路」を歩いて確認しましょう！

避難所までの経路が安全かどうか、注意が必要な場所がないか、足元が悪い状況でも安全に避難ができそうか、避難にどれ位の時間がかかるかなど、地図上では気が付かなかった注意点を確認してください。



4 命を守るため、いざという時に慌てず避難できるよう、 事前に「マイ・タイムライン」を作成しましょう！

「マイ・タイムライン」は、台風や集中豪雨などの風水害から自分や大切な家族の命を守るための一人ひとり(または家族単位)の「防災行動計画」となるものです。

身の周りの災害リスクを知り、避難先、避難経路、避難のタイミングなどを事前に確認し、時系列的に「いつ」「誰が」「何をするか」を整理しておくことが、身を守る第一歩になります。「マイ・タイムライン」を作成し、いざという時に備えましょう。

- ▶ 別添の「マイ・タイムラインの作り方」をご参照ください。



いつでもどこでも確認できる

WEB版 ハザードマップの利用方法

パソコンやスマートフォン、タブレット端末等で、現在地周辺の災害リスクなどを確認できる「WEB版ハザードマップ」の運用を令和6年6月26日から開始しています。お届けした冊子版のハザードマップとあわせて、是非、ご活用ください。

閲覧方法

宇都宮まちかど情報マップから閲覧できます。

https://www.machi-info.jp/machikado/utsunomiya_city3/index.jsp



利用方法

手順①「WEB版ハザードマップ」にアクセス

手順②「現在地周辺の災害リスクの確認」はSTEP①～④に従って画面を操作

STEP ①



確認したい災害リスクを選択

STEP ②



パツと見のわかりやすさ、スムーズな動作環境を確保するため、「浸水想定区域」と「避難場所」を初期表示

レイヤーのアイコンをタップ

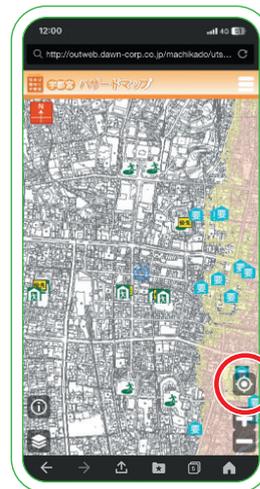
※実際には色付きの地図が表示されます。

STEP ③



見たい情報を選択

STEP ④



位置情報のアイコンをタップ

※スマートフォン等のGPS機能がONの場合、現在地を画面上に表示

手順③「避難所までのルート案内」はSTEP⑤～⑧に従って画面を操作

STEP ⑤



避難所をタップ

STEP ⑥



「ここへ行く」をタップ

※記載している画像は、災害時をイメージしたものです。平常時は「URL」をタップした後に、「避難所一覧」をタップしてください。

STEP ⑦



キャンセル

STEP ⑧



避難所までのルート案内を開始